

# 令和5年度いしかわプラスチックリサイクル促進モデル事業 実施結果の紹介



(一社) 石川県繊維協会 ・ (一社) 石川県産業資源循環協会

## 繊維くず（ナイロン）のリサイクルに向けた回収システム実証事業

### 事業概要・目的

繊維企業の生産工程で排出される繊維くずは現状、各繊維企業が廃棄物処理業者に対し個別に回収を依頼しており、リサイクルに向けた共同での取組みは行われていない。

そこで、産地全体として繊維くずのリサイクルを推進するため、(一社) 石川県繊維協会と(一社) 石川県産業資源循環協会が連携し、繊維企業から繊維くず（ナイロン）を効率的に回収・集積し、リサイクル業者が買い取るというモデルを構築するための実証事業を行った。本事業については、回収コスト等課題を検証のうえ、県下繊維企業にリサイクルの取組みを普及する。また、ナイロンは他の繊維と比べても市場価値が高いため、市況が変化しても引き続き事業を継続していけると考える。

産地全体として繊維くずを回収・リサイクルする取組みは全国初であり、実現できれば繊維業界全体への波及も期待できる。

### 事業の効果

石川県内で排出される繊維関係のプラスチックごみは約8千トンであり、繊維くずの分別・リサイクルの取組みを産地全体に普及させることにより、プラスチックごみの削減が図られる。

また、これによりプラスチックの焼却時に排出される二酸化炭素が削減されるほか、効率的な運搬による二酸化炭素削減効果も期待できる。

### 事業結果

繊維くずの評価を行うためのサンプルを繊維くず排出業者から回収し、リサイクル業者において当該サンプルの評価試験を行ったところ、回収物に付着する糊成分の除去（洗浄・乾燥）が課題と分かった。

その後、リサイクルに適した繊維くずの種類を調査するとともに、これまでの繊維くず排出実績を踏まえたコスト計算を行い、モデル事業の実現可能性を評価したところ、回収物に付着した糊成分の除去が必要のため買取価格が低減するものの、リサイクルについては基本的に可能と判断された。

### モデル図

